

# 地域づくり金沢フォーラム 2023 開催報告



## 開催概要

### 1 目的

令和4年度キャンパスタウン金沢サポート事業補助金を活用し、地域で活動する区内大学の学生による活動報告や、地域との意見交換・交流を目的として開催しました。

「地域に活動内容を知ってもらうこと」、「活動団体同士がお互いの活動内容を知ること」及び「地域と学生が積極的な意見交換を行うこと」により、地域と大学との連携を醸成し、地域活動の活性化を促します。

### 2 日時

令和5年3月14日（火）13時30分から16時まで

### 3 会場

関東学院大学 金沢八景キャンパス Foresight21 10階大会議室

### 4 参加者

地域：16名（自治会・町内会、地区社協及び地域ケアプラザ）

大学：58名（関東学院及び横浜市立大学の学生、教員及び職員）

区社協：1名

区役所：17名

その他：1名 計93名



## 当日プログラム

13:30 開会

13:33 第一部 ポスターセッション

14:15 休憩

14:30 第二部 パネルディスカッション

16:00 閉会



金沢区幸せお届け大使  
ぼたんちゃん

① 看護生命科学ゼミ（横浜市立大学）

「地域と大学をつなぐ健康 HAMA ぷらっとフォーム」

地域の方々にとって大学が気軽にぷらっと立ち寄れる集いの場となるよう、横浜市立大学福浦キャンパス及び金沢区の町内会・自治会での皮膚の機能測定を実施。測定をきっかけに地域の方々の健康意識やニーズを把握し、健康の維持・向上に繋がるような健康サポートの場を提供することを目指し活動しました。

② 医学部YDC（横浜市立大学）

「金沢区内の小中学生向け医療訪問授業」

2010年度より医療についての訪問授業をボランティアで実施。コロナ禍などを契機とした医療に対する関心の高まりを受けて、正しい「医療」を「分かりやすく」伝えることを意識し、活動しました。

③ 三浦半島研究会（横浜市立大学）

「第二回ちいさな駅前半島マルシェ実施事業」

金沢八景地域をはじめとした三浦半島の魅力を、金沢区の地域の方々に発信し、体感してもらうことを目的とし、金沢区を中心に三浦半島地域のお店や農家さんの協力の元マルシェイベントを開催しました。

④ 中泉ゼミ（関東学院大学）

「金沢区の交通課題、交通困難者を調査し、ナッジを用いて改善」

金沢区内において、高齢化で潜在的な交通事故の発生が懸念される箇所を早期発見し、ナッジを利用した対策を提案しました。

⑤ 西尾ゼミ（関東学院大学）

「金沢区域（特に旧釜利谷村地域）の歴史的景観の調査・研修」

『新編武蔵風土記稿』の釜利谷に関する部分を考察。また、巡見した際の現在の地理的情報も踏まえ、明治期の釜利谷の地図に『新編武蔵風土記稿』に記されている釜利谷の地名や神社仏閣の位置関係を視覚的に見えるよう落とし込みました。

⑥ 小山ゼミ（関東学院大学）

「地域資源の発見・理解に向けた活動」

コミュニティ活動の活性化において、日本の少子高齢化問題との繋がりが存在する3つのテーマ「防災」、「自然」、「コミュニティカフェ」について、グループワーク、フィールドワーク、インタビュー調査及びイベント開催等のアクションリサーチによる調査を実施しました。

## 1 活動報告(3団体)

- ① 「横浜金沢シーサイド魅力発信プロジェクト」：あしたタウン students(横浜市立大学)
- ② 「金沢の古道」現代版の高精度画像による製作：石井ゼミ(関東学院大学)
- ③ 「金沢区瀬戸の空き家をまちの学校へ」：空き家改修・まちづくり せとさんち(横浜市立大学)

## 2 討議「大学の力を活用した地域活動の活性化」

- **パネリスト** 六浦東地区町内会連合会 瀬ヶ崎台自治会 会長 内山 昭博 氏  
六浦地区連合町内会 瀬戸町内会 会長 柳田 正義 氏  
関東学院大学 社会連携センター長 津軽石 昭彦 氏  
横浜市立大学 地域貢献センター長 中西 正彦 氏  
活動報告3団体の代表者
- **進行** 関東学院大学 准教授 酒谷 稔将 氏



### 活動報告団体 活動概要

#### ① あしたタウン students (横浜市立大学)

##### 「横浜金沢シーサイド魅力発信プロジェクト」

金沢シーサイドタウンにおいて、①地域内外に魅力発信していき、まちの良さを知ってもらうこと、②地域の魅力を創出するコンテンツを実施し、まちとしての新たな特性をつくり出すこと、③魅力を住民に共感・共有することをテーマに、情報発信や親子の居場所づくりへのサポート及び他のプロジェクトとの協働活動など、今後人々が積極的にまちづくり活動及び地域活動へ参画できる基盤を整えることを目的に活動しました。

#### ② 石井ゼミ (関東学院大学)

##### 「金沢の古道」現代版の高精度画像による製作」

1984年に金沢区役所から刊行された「金沢の古道」を、金沢区内における古道をはじめとした交通インフラの発展に関する様々な調査を行い、写真を多用した視覚的にわかりやすい形態で電子書籍化し、「金沢八景・金沢文庫に残る歴史の痕跡」というタイトルで広く公開しました。

#### ③ 空き家改修・まちづくり せとさんち (横浜市立大学)

##### 「金沢区瀬戸の空き家をまちの学校へ」

瀬戸にある空き家をリノベーション・DIYし、地域住民や学生が集える居場所として開放し、地域住民や学生の暮らしの知恵や趣味などを共有できる場所(まちの学校)とすることを目的に活動しています。DIYだけでなく、「喫茶せとさんち」を始めとしたイベント開催や夏祭りの運営サポートにより地域との連携を深めました。また、地域の方によるワークショップの開催場所として活用され始めました。

## 当日の様子

### 学生によるポスターセッション



### パネルディスカッション



## 主な感想(第一部)

※第一部のポスターセッション実施団体を対象とした感想です。

看護生命科学ゼミ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 肌の健康は心の健康へとつながると思うので、非常に価値のある取組だと思った。</li><li>• 身近なテーマをわかりやすく説明していただきありがたかった。</li><li>• 肌と聞くと美容ばかり浮かぶが、バリア機能など、皮膚と健康の具体的な関係性などを学べると良いと感じた。</li><li>• 活動を通して、積極的に地域を発展させようという気持ちが見えた。</li></ul>
医学部 YDC	<ul style="list-style-type: none"><li>• 小中学生が医療への関心を持てるきっかけづくりとして、とても良い活動だと感じた。</li><li>• 座学だけでなくグループ活動やクイズなど興味を持ってもらいや</li></ul>

	<p>すい内容だったと思う。体験は記憶に残りやすく、医療に関心を持ってもらう良い機会になると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校に限らず、地域にも入ってきてほしい。</li> </ul>
三浦半島研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前エリアを利用することで集客につながる。継続的な活動により認知度向上につながると思う。</li> <li>・地域の魅力を伝えるため、フリーペーパー発行だけでなく、イベント主催など積極的に行動し、地域の交流の場を作っていると思う。老若男女全ての人と交流できるのでぜひ参加したい。</li> <li>・とても地域活性化につながるものと感じ、素敵だと感じた。もっと知ってもらうことが課題だと感じた。</li> <li>・半島マルシェで近隣の人だけでなく、活動の中で関わりのある三浦の店や農家など幅広い種類の店が出ていて驚いた。</li> </ul>
中泉ゼミ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な場所を発見し、気づきを与えることにより事故を防げるかを検討していて面白いと感じた。</li> <li>・具体的な話を聞いて理解しやすかった。ナッジというものを始めて知ることができた。</li> <li>・実際に効果がどの程度あるのか知りたい。</li> <li>・道路の拡幅など大規模な対策ではなく工夫次第で自己を未然に防ぐ方法があるのだと学ぶことができた。</li> <li>・強制力のない人間の心理を利用したナッジというアプローチは面白かった。</li> </ul>
西尾ゼミ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点が面白いと感じた。地域の関心は高いと思う。歴史的景観もわかり、釜利谷地区について今と昔では違う印象が残った。</li> <li>・資料から分析し、地図に落とし込むことによって多くの人に理解してもらえると感じた。</li> <li>・研究対象がたくさんあるので、結果を蓄積していくと大きな財産になると思う。</li> </ul>
小山ゼミ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が金沢区の資源を認識できたことが素敵だと思った。</li> <li>・積極的なアプローチで、様々な経験を積んでおり感心した。継続してほしい。</li> </ul>

## 討議(第2部)での主な意見等

### 1 3団体の活動報告を受けての感想や意見

- ・ 学生が地域と連携し、活動しており素晴らしい。
- ・ 「せとさんち」の「建物を作りながらイベントを実施していく」という考えに驚いた。また、学生が路地裏に魅力を感じているのを知って、新しい流れを感じた。
- ・ 3団体とも、年々活動がしっかりしてきている。評価軸を持ち、目標を立て、それに対して活動し、アンケート等を取り、自分なりに考えて次の活動に繋げていくという流れが見られ、事業成果が出ていると感じた。

- バラエティーに富んだ活動だったと感じた。専門性との関わりで活動のバリエーションが決まってくる。活動している学生が、どんな専門性を持って活動しているかということを見てもらえると一層楽しんでもらえると思う。地域の方としても、大学とつながる際の一つのヒントとなると思う。
- 他団体の話を聞いたことは非常に刺激になった。社会問題でもある空き家問題に地域活性化という面から取り組んでいくのは楽しいと思うし、今後も期待できると感じた。
- 活動の中で、地域の魅力を後世に伝えたいという熱意が伝わってきた。

## 2 地域が学生に求めるもの

- 地域の事業に学生が協力してくれている。スタッフと学生がコミュニケーションを取れるようになった。こういった協力体制により学生と交流できると考えている。
- スマホやLINE 教室を実施していただき、交流の場として、地域と学生との億流密度を上げてほしい。
- 「町内会と学生個人」という関係では長続きしない。組織的な形での交流を望む。

## 3 学生が地域に求めるもの

- 地域に関する理解を深めることができる機会を作ってほしい。背景には、地方出身の学生が多いことや、活動地域に居住している学生がいないという問題があると思う。地域に理解がない学生が地域を活性化するのは困難で、学生が地域に入っていける環境づくりや活動地域について知ることができるような情報共有の場が欲しい。
- 地域と学生の関わり方が時代と共に変わってきた。社会構造変化や人口変化により、昔とは違う形で地域とつながっていくのだと感じている。
- 隣人・近隣住民との関係づくりが難しいと感じている。
- 学生が楽しんでいることを良く捉えていただけない方もいるので、地域への溶け込みやすさが柔軟になればと思っている。

## 4 ポスターセッション時の質問シートを基に意見交換【活動を継続していくには？】

- 出来上がっているコミュニティに入っていくのは非常に難しいこと。  
学生にとって、利益がある、参加しても良いと思える、楽しめる、そういったメリットを見えやすくしていただくなど、学生が地域に入っていくやすい環境が重要だと思う。
- 学生のイベントに積極的に参加していただき、コミュニケーションを取って親密な関係を築いていただきたい。
- 高齢者への周知方法が課題となっている。紙媒体の他、SNS を活用できるようになっていただけると助かる。

## 大学の力を活用して地域活動を活性化させるためのアイデア

※参加者の皆様よりいただきました。

- 公園のように気軽に大学に立ち寄れると良いと思う。感染や防犯との両立もあると思うが、大学生の発想力を生かした地域と大学が連携したイベントを開催してほしい。
- 今後の成果を地域住民に向けて、さらに公表してほしい。
- 大学とボランティア団体の連携。
- 学生が地域団体間の架け橋になることが、地域と地域をつなぐきっかけになると思う。
- 今回のような発表会を開催する。
- 大学から地域への情報発信を増やす。また、戸別アンケートなどをアナログな形式で実施してほしい。
- 2大学共同の地域支援活動を検討してほしい。
- 学生にインターンとして地域活動してもらいたい。
- 大学の授業で地域活動について話せる機会を設けることにより、地域活動を知る機会を増やしてもらいたい。
- 小中高生の他に、幼児やその親を対象とした活動の展開。
- 若い方が自治会活動に加わってもらえると活性化すると思うので、お互いに刺激になる活動を考えたい。
- 学生の必要性を地域が理解することが重要。
- 学生が地域活動に対して、どれだけ魅力を感じられるかがポイント。

## まとめ

金沢区では、関東学院大学、横浜市立大学と平成 20 年 11 月に協定を締結し、大学の専門的な知識、学生の行動力及び柔軟な発想を生かしたまちづくり「キャンパスタウン金沢」を推進しています。その一環が、「キャンパスタウン金沢サポート事業補助金」や「地域づくり金沢フォーラム」です。

当フォーラムは、両大学にご共催いただき、平成 28 年度から実施しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止またはリモート開催となっていました。

今年度、4年ぶりに対面形式により開催することができ、一層、地域の方々と学生による交流・共有が図られ、金沢区の地域活動活性化に一定の効果を発揮することができたものと考えています。

当フォーラムでできたつながりや、いただいたご意見・ご感想を一時的なものとし、今後の活動に生かし、より一層の地域活動活性化に向け事業実施して参ります。

